



消防団の
訓練の様子



消防屯所

119番のしくみ

火事が発生したり、急病人やけが人が出たりしたとき、わたしたちは、119番を回します。れんらくを受けた消防署員は、すばやく、しかも正か^{げんば}くに現場にむかいます。火事の場合、消防団の人たちもすばやく集合してきます。救急の場合、消防署員や消防団の人たちがすばやく活動できるために、どんなしくみがとられているのでしょうか。

119番を回すと、まず、会津若松市にある^{こういきしょうぼうほんぶ}広域消防本部の^{つうしんしらい}通信司令室^{しつ}につながります。通信指令室員は火事か救急かをたしかめ、場所や病人・けが人の様子、通報者の名前などを聞きます。その後、通信司令室からたんとうする署に出動指令が出され、現場にむかいます。

十文字出張所では、火事の場合、出動したポンプ車やタンク車と連絡